

舞台技術フォーラム in 水戸 2012

今年6月に、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律が成立したのを受け、劇場等に勤務する者にとって2012年は、新たな創造活動のスタートとなることでしょう。また、昨年3月に発生した東日本大震災の経験から、より高い防災管理意識を持ち、具体的な対策を講じていく事が強く求められています。「舞台技術フォーラム」では、主に劇場等の文化施設が抱える活性化についての課題と、防災管理面における方策について考えます。

日時：2012年10月23日(火)
10:30～15:30(10:00受付)

会場：水戸芸術館 ACM 劇場

参加費：無料

◎ 第1部 10:30～12:30

「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」のポイントと今後の課題

今年6月に成立した劇場法により、人材の育成など劇場・音楽堂を取り巻く環境の整備が今後どのように進んでいくのか、また、関連施設やスタッフ、実演芸術団体や、国・地方の公共団体がどのように相互連携していくのかを検証します。

パネリスト

大和 滋 ((社) 日本芸能実演家団体協議会 参与)

眞野 純 (神奈川県立県民ホール・神奈川芸術劇場館長)

高橋 透 (東京芸術劇場事業企画課長、アートマネジメント学会会員)

◎ 第2部 13:30～15:30

「3.11の経験から— 防災管理対策について」

昨年3月の東日本大震災で、劇場やコンサートホールがどのような被害を受けその対応にあたったかを、具体的な事例を挙げながら語ります。また、その経験を踏まえ、今後いつ何時発生するか分からない地震に対して、どのような管理体制が求められ、かつそれを実践していくかを考えます。

パネリスト

水戸芸術館(舞台技術係)、いわきアリオス(施設管理課)、水戸市地域安全課 ほか